

防災訓練を通じて

北条中学校  
二年 江部 涼太

私達は二回も強い地震を体験しています。今回ナダレンジャーの実験を通して地震の仕組みを知りました。高い場所のでゆっくりゆれ、低い場所ですくゆるれ、固有振動やマンホールを持ち上げた液状化現象などです。

その他にも炊き出し訓練、起震車の体験、どれも「いざという時」にはとても欠かせない体験なので、大事にしていきたいです。

炊き出しを手伝って

北条中学校  
三年 五十嵐 杏奈

私は、炊き出し訓練の手伝いをしました。実際、私は作ってはいませんが、地域の人に配って、みんなおいしそうに食べていたのでうれしかったです。地域の方が作ってくれたおにぎりやみそ汁は、どれもすごくおいしかったです。

地震が来たら今日の訓練を忘れないよう地域の方々と協力していきたいです。



出来上がった炊き出しを配食

炊き出し訓練に参加して

大広田チーム

ふつくと炊き上がる筈のご飯。釜のスイッチが予想外に早く切れてしまい、イヤな予感通り硬い。気にする余裕等なく、手際よく分担作業で三角おにぎりの出来上がり！ふりかけが味を引き立て、みそ汁もあって正に防災訓練の昼食。水の量等、次に繋げる事は必須、その点若い方がいたので安心、タッチは可能。米も新米、炊き出し要員も新米だったけど、パワー全開の一日でした。

創意の結果、次年がもう

南条チーム

炊き出し班の組織づくりと調理器具の購入、そして実習、万全の備えをしたつもりの南条チームでしたが、本番でのご飯はめっこめし、野外での炊飯実習をすべきだったこと反省しきりでした。

塩おにぎりに味噌漬けと豚汁、炊き出し向きの献立は好評、しかし、具材は地域で調達できるものに絞るべきでした。

炊き出し訓練に参加して

東長鳥チーム

大角間二名、峠一名、杉平三名のお手伝いのもと、災害の経験もあり、おにぎりの握り、大きさ、漬物に合う塩加減、もつと食べたいと思わせるとん汁のおいしさ。

臨機応変に動けるスタッフに感謝です。地区ごとに特色がでて当たり前。訓練なのに緊張感がなかった事が残念です。

皆々の声を聞きました

訓練中皆さんの声を聞きました。紙面都合上、氏名町内名、年齢等は省略。

・自主防災会の避難訓練

・防災無線の性能はすごい。雑音が無く、声が明瞭。

・本部との連絡・指示が適切。

・児童生徒の引き渡し

・前回の訓練の成果か、子どもの方が動きを知っていた。大人と子どもとが顔見知りになる必要がある。

・放水訓練

・小型ポンプながら、放水能力が抜群。北条地区に消防団員百五十人とは力強い。いざという時はお願いします。

・炊き出し訓練

各チームの工夫と苦勞の様子が分かった。お汁がおいしく、三杯飲んだ。満腹。

・防災マップ

・防災のためとは言え、よくも調べたものだ。説明は年寄りには難しかった。

・ナダレンジャー

講師の話術はすばらしくおもしろさの中に、災害に関わる実験を見せてくださった。分かりやすく役立つ話だった。勉強になった。

・起震車体験

怖かったけどおもしろかった。中越地震の震度が分かった。ほかにたくさんの方の声を聞きました。共通することはこの種の訓練は絶対必要で「備えあれば憂い無し」ということでした。(禮治郎)

炊き出しレシピ

- ・ふりかけおにぎり (2種類)
- ・豚汁

